

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

ハイライト:

- セミナー：マネジメント講座&相談会 事業報告書・会計編
- イベント：お米の講演会&交流会
- 自治会という組織と今後の在り方第二弾
「NPOと共に再生に取り組む商店街」



紫菜花に蜜を求めて…

セミナー情報 詳細は別添のご案内・申込書を見て下さいね!

マネジメント講座&相談会 (情報発信のための事業報告書の作成と会計報告編)

日時：① 2月18日(金) または ② 2月19日(土) いずれも13:30~17:00

場所：① 三和荘 多目的ホール (福知山市三和町寺尾権現4番地)

② 舞鶴市西市民プラザ 活動室 (舞鶴市円満寺158-6)

講師：藤野 正弘様 (きょうとNPOセンターチーフ事業コーディネーター)

- ◇ 今年度も事業報告書等の提出の時期が近づいてきました。面倒な事業報告書の作成、でもこれは情報発信のための絶好の機会。ぜひこの講座で“使える事業報告書の作成”を学んでください。

※ 今回は、平日コースと休日コースを設け、場所も福知山と舞鶴の2か所で行います。どちらか都合の良い方をお選び下さい。

イベント情報 詳細は別添のご案内・申込書を見て下さいね!

お米の講演会&交流会

日時：2月5日(土) 10:00~16:00

場所：三和荘 大ホール

講演：井上 吉夫様 (お百姓さん) …有機栽培の匠
～農家が自立するということ～

- ◇ 井上様にご講演いただいた後、京都丹波の里山の地でこだわりのお米作りをされている皆様からご提供いただいたお米と、米・食味分析鑑定コンクールで最高位の金賞を三年連続で獲得した但馬の「村岡米」、そしてスーパーなどで市販されている一般的なお米を食べ比べ、交流を図ります。汁物なども三和荘様に作っていただきます。消費者の皆様の意見も伺いたいと思いますので、どなたでもぜひご参加ください。

天照玉命神社 (福知山)
福知山駅からおよそ3キロ、今安の地に鎮座するこの神社。実は日本で最初の医学書「医心方」を著した丹波康頼の氏神で、この地が康頼の出身地であるとも言われています。
ちなみに、「大霊界」で知られる、故 丹波哲郎氏はその子孫だとか。
丹波忠重朝臣がこの神社を詠んだ和歌
大江山昔の後の絶えせぬは天照神もあわれとや見む
は、藤原長清撰「夫木集」に収められています。

目次

セミナー情報	1
マネジメント講座&相談会	
イベント情報	1
お米の講演会&交流会	
助成金情報	2
2011-2012 事業指定助成プログラム	
自治会という組織と今後の在り方 第二弾	3
(NPOと共に再生に取り組む商店街)	
京都丹波・丹後ネットワークよりお知らせ	4
とっておきご紹介	4

助成金情報**2011-2012 事業指定助成プログラム**

NPOへの寄付文化を創造する革新的な助成プログラム

事業指定助成プログラムは、市民や企業等が、支援したいと思うNPO・市民活動団体の事業を指定し寄付することができる、寄付拡大のサポートプログラムです。

採択された事業は、**公益財団法人 京都地域創造基金**（以下財団）が認める公益性と信頼性の高い事業として社会に公開し、当財団と団体がともに寄付を募集します。当財団を通して集まった寄付金を助成金として団体に交付します。

寄付者は寄付金控除等の税制優遇が受けられます。

趣旨

信頼ある公益性の高いNPO・市民活動団体への寄付金を促し、資金調達を支援することで地域社会の課題解決やより良き地域社会の実現と寄付文化の醸成を目指します。

概要

- ◇ 指定先として採択された事業は、その後1年間（もしくは1年以内の指定日まで）、財団が認める公益性・信頼性の高い事業として、広く社会に寄付を募集します。（申請額をもとに決定する寄付募集額が上限）
- ◇ 寄付者は事業を指定し、寄付をすることができます。
- ◇ 寄付金は財団を通して、各団体に助成金として届けられます。なお、京都地域創造基金は公益法人であるため、この寄付金は寄付金控除等の税制優遇の対象となります。

応募申請期間

第3期申請期間：2011年1月11日（火）～2月10日（木）18時必着

助成限度額（申請可能な額）

実施事業に係る費用の100%で申請可能です。（申請額や使途に制限はありません）
ただし、助成される額は申請額を上限として、実際に集まった金額となります。

対象団体…次の全てに該当する団体が対象です。

1. 京都府内に事務所を置くNPO・市民活動団体（法人格の有無は問わない）
2. 積極的な情報開示を行っていること⇒申請団体が公益ポータルサイト「きょうえん」に団体登録し、情報開示レベル★5ときょうとNPOセンターによる社会的認証「ステップ2」を取得していること（ただし一定期間内にステップ3認証を取得することが条件）
3. 申請期間終了後2週間以内をめぐりに財団のヒアリングに対応できること
4. 申請に必要な書類をすべて用意できること
5. 助成決定後に開催されるガイダンスに必ず参加し、速やかに事業PRシートを提出できること。
6. また、採択後1か月をめぐりにアクションプランシート（採択事業の具体的実行計画等）を提出できること。また、助成期間中に実施する助成先交流プログラムに可能な限り参加できること。
7. アクションプランシートを活用し、当財団とともに、助成金のもとになる寄付金募集に積極的に取り組むことができること。またそれに必要な情報を提供できること。
8. 事業実施中から実施後、当財団及び寄付者や支援者に対して、定期的に適切な情報開示と事業報告（アカウンタビリティ）を果たせること。
9. 所定の事業報告書を期日までに当財団に提出できること。
10. 助成金の使途は原則、すべて公開すること

「きょうえん」、社会的認証「ステップ2」など詳細については

HP: <http://kyo-en.canpan.info/ninsyou2.html> をご覧ください

自治会という組織と今後の在り方 第二弾 (NPOと共に再生に取り組む商店街)

商店街を巡る環境は、大型店の郊外展開や少子高齢化の進展などの中、年々厳しさを増し、地方では「シャッター通り」などといわれるようになって久しい状況です。

そんな中、地域の商店街の活性化に向け、経済産業省が「地域商店街活性化法案」を提出するなど、国を挙げて取り組んでいるところであるが、地方でも空き店舗活用など様々な取り組みがなされています。

また、車での移動が困難な高齢者等にとっては歩いて行ける商店街は必要不可欠であり、魅力ある商店街の姿が見直されてきている時期でもあります。

今回は、西舞鶴でかつて一番のにぎわいを見せたマナイ商店街を取り上げ、かつてのにぎわいを取り戻そうと模索されている姿取材しました。

【マナイ商店街の取り組み】

マナイ商店街は京都府北部の中核都市・舞鶴市の玄関口から歩いて数分のところに位置する商店街です。この辺りは、名水・真名井の清水がこんこんと湧き出る豊かな土地で、古くは商人の織り成す活気溢れるまちでした。

昭和50年代、スーパーさとうの進出によって、商店街も対抗してアーケードを建設するなど、ともに栄えた時期には120店舗ほどあった店数も今では45店舗ほどに減り、空き地が増えてきました。残った店舗の多くも後継者問題やアーケード工事の負債などに追われ、未来図を描くこともできない状況です。

しかし一方、平成15年に商店街の中心に舞鶴市西市民プラザが設立されたことで、次第に夜の市等の様々なイベントごとが行われるようになりました。特にNPOまちづくりサポートクラブ（西市民プラザの指定管理者）が行う子育て支援事業は商店街の人々にも受け入れられて、子連れのお母さんたちが多く利用しています。

また、昨年12月の「海の幸グルメフェスタ」では、「こうちゃった100円商店街」と題して舞鶴西地区にある商店街の各店がそれぞれ工夫した商品を100円均一で売り出し、大賑わいを見せました。なかには今日契約すると1か月だけ家賃100円とか、チューリップつかみ取りなど変わった内容のものもあったとか…。

そしてまた、このマナイ商店街の魅力の一つは30歳代や40歳代の若い方が出店している飲食関係のお店が多くあり、夜も人通りがあることです。

【今後の課題】

高齢化が進む中で商店街の今後を考えたとき、本音を言えば「いまさら頑張ってみてもどうなるかわからない店を子供に継がせるよりは、自分の代で終わらせた方が良いのでは…」という思いもあると、取材させていただいた方が話してくださいました。

それが現実なのだろうと思う一方で、やはりこのままさびれさせてはいけない。今こそ地元で暮らす若い力を結集して、都会に出てしまった人たちにもう一度ふるさとへ目を向けさせる、そんな魅力的なまちを創造していかなければとも思うのです。

各々のお店の魅力だけでは無い、商店街としての魅力をどう作っていくのか、また、せっかく商店街の中に建てられた西市民プラザを本当の意味で活用する方法を、商店街の人たちだけでなく、舞鶴で暮らすすべての人が、そしてNPOが、市が、府が、みんなと一緒に考え行動する、そのための第一歩を踏み出すときに来ているのではないのでしょうか。

マナイ商店街がかつて以上のにぎわいを取り戻す日がきっと来ると信じて、この記事締めくくるところにします。



真名井の清水



マナイ商店街

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワークからひと言。

私たちはNPO法人だからこそ出来る新たなネットワーク作りを京都府の協力を得ながら実現していきたいと思っています。

北部ではなかなか情報が得にくい助成金のご案内や申請のための相談会なども実施しますので、ぜひご利用ください。

なお、助成金申請の相談会やIT講座（HP・ブログの作成・更新など）は何人かが集まれば実施致しますので、お気軽にご相談ください。（出張相談もOK、料金は無料です）

〒620-0052

福知山市昭和町7番地

電話・FAX 0773-45-3507

Email: tantan@kyoto-tantan.net

ホームページもご覧ください

記事以外にも様々な情報を掲載しています。

<http://www.kyoto-tantan.net/>

皆さんの力を結集して、京都丹波・丹後のよさを全国に発信しませんか？

編集後記

今回は、自治会ではありませんが、かつて賑わいを見せた商店街をなんとか守ろうと模索する舞鶴のマナイ商店街をご紹介します。

なお、京都ちゅうたん元気だよりでは、NPO等団体様のご紹介、素敵なお店、素敵な風景などを募集しておりますので、当NPOまで是非ご連絡ください。

とっておきのご紹介 番外編

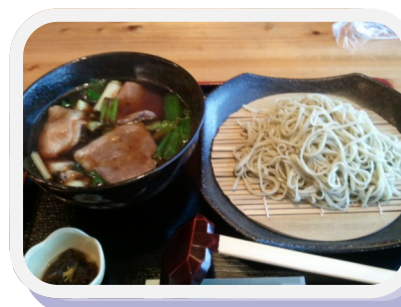
素敵なお店と出会える場所

今回は宮津からおそばの名店「まる丹」を、兵庫県丹波市から絶品のラーメン店「たかはし」をご紹介します。どちらも私たちの大好きなお店です。

橋立そば処 まる丹

宮津湾を隔て、栗田半島を望む国道沿いに建つこのお店。内装は木と手すき和紙を基調にした温かい雰囲気、その一角にガラス張りの作業場があります。店内には仏版画家観瀾斎(かんらんさい・福知山出身)の作品をはじめ、地元の工房で作られている焼き物やオブジェなども飾ってあるので、蕎麦が出来るまでの間も楽しめます。

そばの実は100%国産にこだわり、石臼でじっくり時間をかけて引いたそば粉をご主人が水だけで練り上げ、手打ちで仕上げてくださいます。本物のそばの香りが楽しめる、最高の一品、わざわざそばを食べるためだけにしかける価値のあるお店です。



ラーメンたかはし

お店は丹波市氷上町大崎、JR石生駅から北へ徒歩10分程度のところに位置しています。



全粒粉を使った自家製のストレート麺は、低加水のため小麦の自然な甘みを感じられ、今までに味わったことのないおいしさで食感です。スープはとんこつをベースに、カレーや黒コショウ、ハバネロなど、ココでしか味わえない創作ラーメンがそろっていますが、なんといってもおすすめはマー油。本場熊本のラーメンにも負けない美味しさです。季節によってはざるそば風のラーメンや冷やしとんこつなどもいただくことができます。

ラーメンとしては私の中のNo.1です。少々時間がかかっても足を運ぶ価値絶対あり！ぜひ一度試してみてください。